

# 大阪狭山の生んだ女流棋士 室谷 由紀

Yuki  
MUROYA

プロの将棋の世界は、自らの頭脳で勝利を勝ち取っていく厳しい勝負の世界。高校2年生で女流棋士としてデビュー。強豪ひしめく中、数々の勝負を繰り広げ現在女流初段。知的で活発、容姿端麗なことから、NHKの将棋番組などメディアにも出演。今、注目の女流棋士、室谷由紀さんです。



## 駒の動かし方も知らずに始めた将棋

将棋教室に通い始めたのは、小学1年生の時。しつけや礼儀作法も学べるからと母親の友人からの勧めが将棋を始めたきっかけでした。二つ違いの姉の早紀さんと共に習い事のひとつという気軽な気持ちで、池尻の子供将棋教室「若駒会」へ通い始めました。駒の動かし方さえ知らなかった由紀さんは、指導者南徳一さんから時には怒鳴られ、涙を流すこともしばしば。今でこそ女性の将棋人口は増えたものの、当時は圧倒的に男性が多数を占める将棋環境で、幾度も心が折れそうになったといいます。

## すぐに頭角を現した

### 室谷姉妹

しかし、常にライバルであり目標でもあった姉の早紀さんがいたから頑張ってきたらと、いいます。すぐに由紀さんは、勝つことが楽しくなりめきめきと頭角を現し、小学4年生でアマチュア2段となり、姉と共に「大阪狭山の室谷姉妹」と行く先々で注目をあびました。「ジャズダンスやリコーダー等色々なお稽古事もしましたが、どんな時も将棋盤には毎日欠かさず触れていました。週に



日本の文化 子供将棋教室 若駒会 代表 南 徳一 氏

3回の若駒会、それ以外に2か所の道場にも通い、週末には詰め将棋の問題も解いていました。10人中8人が辞めていく中、コツコツと忍耐強く続けてきた事で強くなれたといいます。

2005年の全国中学生選抜選手権では姉妹での優勝対決となり「大阪狭山の室谷姉妹」は、一躍全国的に脚光をあびました。中学3年生の早紀さんが優勝、1年生由紀さんが準優勝と姉妹揃っての快挙を成し遂げた時の喜びは、南さんは今でも忘れられない事と当時を振り返ります。由紀さんは、この選手権での結果が、女流棋士への道を意識し始めるきっかけになったと話します。

## 厳しい新制度で、16歳で女流棋士に

その後、2006年女流アマチュア名人戦で準優勝、2007年優勝、翌年には日本将棋連盟

然豊かで癒しを感じる素敵なまちなので、将棋を通じて自分の育った大阪狭山市をアピールしていきたいと思っています。取材後、まるでスポーツ選手に出会ったような爽快な印象の残る女性でした。

の女流育成会に入会しプロへの道をめざします。対局のために夜行バスでの東京往復も何度も重ねたといいます。ついに2009年10月、高校2年生(16歳)で厳しく改正された新制度のもとでの初の女流3級となりました。2010年7月には女流2級となり、正式なプロの女流棋士としてデビューを果たします。

## 将棋に専念する毎日

将棋に専念するため、昨年2月に活動拠点を東京へと移します。対局のない日には、棋譜の研究や将棋普及活動への参加と、女流棋士の仕事を果たします。また、指導や子どもに将棋の面白さを広めるイベント、将棋ファンの交流会、メディアへの出演など多忙な毎日。毛筆で色紙を書くのも仕事のひとつと、書道も学ぶ。色紙には迷いなく目標に進んでいる気持ちを表す「一意専心」としたためることが多いといいます。

## まずはひとつ

### タイトルを取りたい

「女流棋士は皆敵だ」と考えているので、この人が目標という先輩はいません。今は、まずひとつタイトルを取ることが目標です」ときっぱりと切り切る由紀さん。ま

た、尊敬するのは棋士の戸辺誠六段で、将棋だけではなく人柄など全てが手本となる存在だそうです。

## 見ていた将棋番組にも

### レギュラー出演

昨年4月から出演しているテレビ番組「NHK杯テレビ将棋トーナメント」は、子どもの頃から熱心に見ていた番組。「友人や両親から、放送後に感想のメールが来ます。遠方からも応援してくれているのはうれしいものです」と。また、男性棋士の対局記録をする仕事も、勉強のためと進んでこなし「男性棋士の対局は長く約12時間にも及びます。女性は正座が作法なので辛いです。勉強になることが多くあるので積極的にさせていただいています」今は将棋一筋の毎日。東京に拠点を置き一年が経ちました。「身の回りのことや食事、健康面などの自己管理は思いのほか大変で、親のありがたみがよく分かりました」

## 攻めの将棋は体力勝負

### 強くなりた

「プロの世界は、自分の将棋を皆に見てもらい、対局を通して賞金を得ていくという厳しいものです。いい将棋をさして強くなりたいです」勝負の前日には、

## いつか将棋教室を開き、自分の学んできたことを伝えて行きたい

「歩1枚という小さな駒の大切さを十分理解して伸びていく。プロとしての活躍は、本当にうれしい」と南さんは愛弟子を前に目を細めます。『将棋を通じて人としての大切な事を学ぶ』南さんの一貫した信念を叩きこまれた事は、女流棋士となった今の全てのベースになっていると由紀さんは話します。

南さんの体調不良のため、若駒会の教室は昨秋に閉鎖となりましたが、由紀さんは将来、自身の将棋教室を開くという夢も持っておられます。「将棋を通じて私が学んできた事を子どもたちに伝えて行きたいですね。自分の失敗は自分で考えて責任をとること、我慢をする事など大切なことは本当にたくさんあります。その時には南先生に是非来ていただき、人として大切な事を一緒

## PROFILE

平成5年生まれ  
大阪狭山市立北小学校  
大阪狭山市立狭山中学校  
同志社香里高校

現在、日本将棋連盟の  
現役女流棋士は47人  
(2015年1月現在)

